

保護者様とお子様のための学力向上情報誌

スクール21 レポート

第6号

「保護者さま必見コーナー」盛りだくさん

(2022年2月発行)

- 1面 新中3生向け 9割の新受験生が知らない「入試(数・社・理)は中2までの勉強で半分以上解ける」という証拠
2面 新中2生向け 数学の鬼門は中2にあり!?その正体と春にすべき対策とは?
3面 新中1生向け こんなに違うの!?小学校と中学校って知ってた?中学に入ると英語も急に変わるって!
4面 中学受験コース生向け 中学受験、合格を勝ち取れ!



※次回の発行は2022年2月を予定しています。
埼玉県さいたま市中央区上落合一丁目9番2号
TEL:0120-024-774
ホームページ https://www.school21.jp/

新中3生向け 9割の新受験生が知らない「入試(数・社・理)は中2までの勉強で半分以上解ける」という証拠

中2生の皆さんは、あとひと月もしたら新中3生。すなわち「受験生」ですね!とは言え、「まったくそんな実感がないなあ」と思っていないですか?「受験勉強は3年生になつてから始めればよい」と考えるか、「すでに受験競争は始まっている」と考えるかで結果は分かれます。その証拠が実際の入試にありました。あなたはどの程度解けますか?



新受験生の2人が話しています。
「もうすぐ3年生かあ、早いなあ」「ホント早いね。受験勉強、はじめてる?」「まだだよ。部活もこれから大会だし。部活終わってから本気になれば大丈夫でしょ?」「え!?違うんだって!入試って中2までの内容でかなり点数がとれるんだって。今やっとなんか断然いいらしいよ!」「え?どういふこと?」

あなたの意識はどちらですか?「受験勉強はまだいい」でしょうか?「今から始めた方がいい」でしょうか?ほとんどの新受験生が知らないのですが、実は中2までの学習内容で、数学(学力検査問題)・社会・理科の県公立入試の平均点近くの点数を取ることができるといいます。入試に出題されるのは、中3になってから勉強する内容ばかりではありません。今しっかりと土台を固めておけば、3年生で積み上げをしていきます。志望校の合格にかなり近づきます。では、教科ごとに中2までの内容で何点取れるのか確認していきましょう。本物の入

●数学は58点も取れた!
中2までの勉強で解ける入試問題(学力検査問題)という「最初の方の計算問題だけでしょ」と思いませんか?そんなことはありません。中2までの学習がバッチリだったら、100点満点のうち58点も取れたのです(事実です)。平均点は62.2ですから、受験生の平均点とほぼ同じくらい点数が、中2までの学習で取れた計算になります。確かにちょっと驚きですね。確かに大問1にある計算問題9題のうち、6題が中2までの内容で解けます。しかしそれ以降にある(11)「球の体積と表面積の求め方」の問題や、(12)

166 Aさんは、同じ大きさの3本の筒を図1のように並べてひもで束ねようとしたが、ひもの長さが足りませんでした。そこで、図2のように並べかえたところ、ひもで束ねることができました。必要なひもの長さの違いに興味をもったAさんは、筒を並べてその周りにひもを巻いたものを上からみた様子を、下のア、イのように模式的に表しました。
円の半径を2cm、円周率をπとすると、アとイのひもの長さの差を、途中の説明も書いて求めなさい。その際、解答用紙の図を用いて説明してもよいものとします。
ただし、必要なひもの長さは1周だけ巻いたときの最も短い長さとし、ひもの太さや結び目については考えないものとします。(5点)

【資料1】令和3年度埼玉県公立高等学校学力検査問題 平均点
Table with 3 columns: 科目, 受験生の平均点, 中2までで取れる

【資料2】中2生までの学習内容で解ける問題と正答率
あなたなら、この表からどんなことを読み取りますか?
(これも図表から読み取る練習ですね)

【社会】
Table with 3 columns: 大問, 配点, 正答率

【理科】
Table with 3 columns: 大問, 配点, 正答率

「空間図形における面の位置関係」の問題も解けるのです。(14)「基本的な事象における確率の性質」の問題や(15)「度数分布表から相対度数を求めよう」の問題もそう。こうした問題は「中2までの内容だから簡単だろう」と思われがちですが、そうとも限りません。難問もありました。正答率90%以上の問題もありませんが、(16)の正答率はわずか11.8%。9人に1人しか正答できなかった難問でした。さらに大問3の(2)の正答率は7.2%。全24問中、2番目に正答率の低い問題でした。記述問題でしたので正答率が低いのは当然かもしれませんが、中2までの学習で解ける問題でも、かなりの難問も出題されました。ここで本物の入試問題から、

●社会は平均点超え!
社会は、地理分野と近世までの歴史分野の大半を中学2年生までに学習します。そこまでの勉強で取れた得点は67点。受験生平均点62.6点ですから、中2までの学習内容をしっかりと身につけていると、受験生平均点以上の点数を取ることが出来ます。数学では、中2までの学習内容で正答率が90%以上だった問題が3題もありました。しかし社会では、正答率90%以上となると1題のみ。多くの受験生が「中1生、中2生でも解ける問題」に苦しめられたという事です。

1 Mさんは、フランス、オーストラリア、アメリカ合衆国、チリ及び日本の5か国について調べました。次の地図をみて、問1~問4に答えなさい。(15点)
問3 Mさんは、地図中に示した、パリ、バース、サンフランシスコの三つの都市の気温と降水量を調べ、次のア~ウのグラフをつくりました。このうち、地中海性気候に属するサンフランシスコの気温と降水量を示すものを、ア~ウの中から一つ選び、その記号を書きなさい。また、そう判断した理由を、選んだグラフから読みとれる特色のうち、6月から9月の気温、気温と降水量の関係の二点に着目して説明しなさい。(5点)

1 次の各問に答えなさい。(24点)
問1 地表に出ている岩石が、長い間に気温の変化や水のはたらきによってもろくなり、くずれていく現象を何といいますか。次のア~エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)
ア 堆積 イ 風化 ウ 沈降 エ 隆起
正答率87.8%

【新たな実験】
図4のような電気ケトルを使って水を加熱し、消費した電力量と水の温度上昇に使われた熱量を比較して、水からにげた熱量を考える。
問4 【新たな実験】について、消費電力が910Wの電気ケトルを使って、水温20℃の水150cm³を100℃まで温度上昇させると90秒かかりました。発生した熱量のうち、水からにげた熱量は、150cm³の水を何℃上昇させる熱量にあたるか、求めなさい。ただし、水1gの温度を1℃上昇させるのに必要な熱量は4.2J、水の密度は1g/cm³とし、電気ケトルから発生した熱はすべて水に伝わったものとします。(4点)

答えは「50℃」です。計算がいろいろ入ってきますが、計算そのものは決して難しいものではありません。ではどうして正答率が10.7%しかなかったのでしょうか。それは答えにたどり着くまでの道筋を考えるのが、難しかったからだと思います。この問題は、習ったことを単純に覚えて答えるだけでなく、どのように考えを進めていけば答えに行きつくのかを考えさせるものでした。こうした問題は苦手な受験生も多いですが、スクール21では、こうした思考力が身につくような練習をしていきますので、入試の時期には得意になる人も多いですよ。

「空問図形における面の位置関係」の問題も解けるのです。(14)「基本的な事象における確率の性質」の問題や(15)「度数分布表から相対度数を求めよう」の問題もそう。こうした問題は「中2までの内容だから簡単だろう」と思われがちですが、そうとも限りません。難問もありました。正答率90%以上の問題もありませんが、(16)の正答率はわずか11.8%。9人に1人しか正答できなかった難問でした。さらに大問3の(2)の正答率は7.2%。全24問中、2番目に正答率の低い問題でした。記述問題でしたので正答率が低いのは当然かもしれませんが、中2までの学習で解ける問題でも、かなりの難問も出題されました。ここで本物の入試問題から、

●理科には「道すじを考えさせる」問題も!
中2までの勉強で取れた理科の得点は55点。数学や社会に比べるとちょっと低いですが、平均点も56.2点と低いので「平均点くらいは取れる」と言えます。中2までの学習で解ける17題のうち14題は正答率50%以上でした。数学や社会に比べると取り組みやすい問題が多かったようです。でも「易しい入試問題なんてイメージできない」と不安ですか?ここでは本物の入試問題

学習で解けるけれど、簡単な問題は少ない」とも言えます。後で掲載する表をじっくり見強への向き合い方が変わるはず。ここでは地理の問題を解いてみましょう。大問1問3(正答率40.9%)です。半数以上の受験生が正解できなかった問題です。解いたら自信を持って下さいね!

から、正答率の高かった入試問題をご紹介します。解けたか?答えは「イ」です。この問題の正答率は、87.8%でした。理科はこのように正答率の高い問題が多かったのでしょうか。それは答えにたどり着くまでの道筋を考えるのが、難しかったからだと思います。この問題は、習ったことを単純に覚えて答えるだけでなく、どのように考えを進めていけば答えに行きつくのかを考えさせるものでした。こうした問題は苦手な受験生も多いですが、スクール21では、こうした思考力が身につくような練習をしていきますので、入試の時期には得意になる人も多いですよ。

いかがだったでしょうか。新受験生の皆さん、「受験なんてまだまだ先の話だよ」という気持ちはなくなったのでしょうか?あなたがすでに習った内容が身につけていければ、入試で半分以上の得点が取れるのです。目の前の勉強を一生懸命頑張ると、志望校合格に近づくことがハッキリしたかと思いませんか?スクール21の先生たちは、あなたの志望校合格を実現するべく全力を出しています。あなたも全力を出して下さい。一緒に志望校合格を勝ち取りましょう。

答えは「50℃」です。計算がいろいろ入ってきますが、計算そのものは決して難しいものではありません。ではどうして正答率が10.7%しかなかったのでしょうか。それは答えにたどり着くまでの道筋を考えるのが、難しかったからだと思います。この問題は、習ったことを単純に覚えて答えるだけでなく、どのように考えを進めていけば答えに行きつくのかを考えさせるものでした。こうした問題は苦手な受験生も多いですが、スクール21では、こうした思考力が身につくような練習をしていきますので、入試の時期には得意になる人も多いですよ。







# 【特集】こんなに違うの!? 小学校と中学校って!

もつと中学生ですか? 中学生になるとバスや電車の料金が大人と同じになります。勉強もずいぶん大人っぽくなります。小学校の時とは変わって「英語」と「定期テスト」を特集します。今のうちに心構えをもっておけば安心ですよ!

## 知ってた? 中学に入ると英語も急に変わるって!

英語は小学校でも習ってきたけれど、中学校では教え方が大きく変わります。初めはとまどうかもしれません。でも、今のうちに「変わる」と「多くの人がつまづくポイント」を知っておけば大丈夫!

英語は小学校でも習ってきたけれど、中学校では教え方が大きく変わります。初めはとまどうかもしれません。でも、今のうちに「変わる」と「多くの人がつまづくポイント」を知っておけば大丈夫!

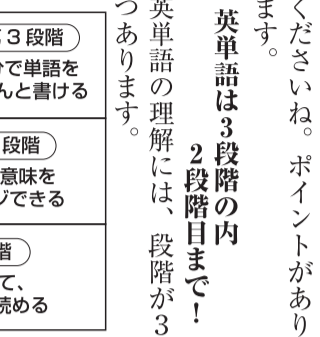


Hello!

小学校	中学校
伝え合うこと (話す/聞く)中心	読み・書きが圧倒的に増える
場面設定ごとの伝え方に慣れる (習った場面であれば伝えられる)	文法を体系的に学ぶ (様々な場面で応用できる)
単語数 600-700語	小学校の単語 +1600-1800語

小学校のような場面設定の学習だと、場面が変わると話せなくなってしまう子もいます。

英語は小学校でも習ってきたけれど、中学校では教え方が大きく変わります。初めはとまどうかもしれません。でも、今のうちに「変わる」と「多くの人がつまづくポイント」を知っておけば大丈夫!



英単語は3段階の内、2段階目まで! 英単語の理解には、段階が3つあります。

多くの人がつまづくポイントは、2つあります。1つは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語は小学校でも習ってきたけれど、中学校では教え方が大きく変わります。初めはとまどうかもしれません。でも、今のうちに「変わる」と「多くの人がつまづくポイント」を知っておけば大丈夫!

英語は小学校でも習ってきたけれど、中学校では教え方が大きく変わります。初めはとまどうかもしれません。でも、今のうちに「変わる」と「多くの人がつまづくポイント」を知っておけば大丈夫!

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

「定期テスト」は小学校にはありませんでした。特に初めて受ける定期テストは緊張する人も多いため、定期テストとはどんなものか、どのように取り組めばいいのか、お伝えします。

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

英語を勉強するのと、英語を覚えるのは「動詞の種類」と「数えられる名詞の数」です。2つ目は「英語を勉強する」と「英語を覚える」の違いです。

# 「定期テスト」って何?

「定期テスト」は小学校にはありませんでした。特に初めて受ける定期テストは緊張する人も多いため、定期テストとはどんなものか、どのように取り組めばいいのか、お伝えします。

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?

定期テストの直前には多くの中学校が「テスト期間」として部活動を休止しています。この期間にテストに向けて仕上げの勉強をします。

定期テストは1年間に5回行われるもので、直前に習った内容の理解度を測ります。では、この定期テストはどんな特長があるのでしょうか?



中学受験コース生向け

# 中学受験、合格を勝ち取れ！ 合格を勝ち取るにはどんな壁を 乗り越えればいいのか？ 攻略法を学年ごとに

## まとめました。



中学受験では、小学校の授業では取り組んでいないことがたくさん出題されます。はじめて問題を見た時は「こんなに難しいの？」と驚くかもしれません。でも大丈夫！合格に必要な力は順番に身につけていけばいいのです。今回は算数と国語について、学年別に乗り越えたい壁と攻略法をまとめました。

## 算数

本番ではかなり長い文章が出題され、それを分解して読み解く力や計算力が問われます。すぐに身につく力ではないので、学年ごとに土台を固めていきましょう。

4年生の壁と攻略法  
「計算」と「図形」です。

攻略法	ポイント
たくさん解くこと	スピードと正確性
図を書いたり、色を付けたりして見やすくすること	頂点は辺や角度は折り返し

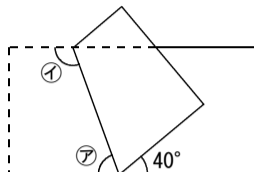
## 「計算」はスピードと正確性を身に付けよう！

実際の受験では、短時間で多くの問題を解くことになり、文章を読んで考える時間も必要なので、計算が遅いと時間のロスになります。4年生の内に計算力を高めておきましょう。スピードだけでなく正確性が大切。だんだんと難しくなり、ケタの多い小数の計算や、3つ4つの数字を計算する問題が出てきます。その時に「え？こんなにくさんの数字？」ととまどうと時間ロス。たくさん数字がでてきても、パッパッと計算できるようにしましょう。

## 「図形」は立体と角度を攻略せよ！

中学受験では「立体」が出題されます。小学校の授業ではあまりやらないので、塾で身につけていきましょう。攻略のポイントが「辺の数」と「頂点の数」が分かること。立体と平面の違いをイメージできると、すんなり攻略できます。

角度は「折り返し」を苦手にする人が多いです。図形の折り返しの見本図



「角度」は計算するまえに、図形の意味合いを理解できていないと解けません。勉強するときに教科書やワークの解説文を読んで、きつと難しいところは、目で見てイメージで理解することが大切です。塾で先生が黒板に書いた図形を自分でノートに書き写したり、色付けしたりして、目で見て分かるようにしましょう。

## 5年生の壁と攻略法

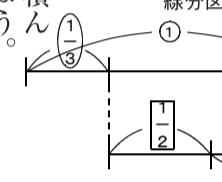
5年生で壁になるのは、「割合」と「速さ」です。

割合	速さ
何を求めて、何をかき、ハッキリさせる	道のり、速さ、時間の関係を明確に
線分図など、見える化すること	何度も解いて、慣れること

「割合」は、何を求めて、何をかき、ハッキリさせる。線分図など、見える化すること。何度も解いて、慣れること。

問題文の読み取りです。「この問題は、何を求めているのか」をまずハッキリさせましょう。そのためには線分図がとっても有効です。

問題を自分で線分図を書き、その問題の線分図を見本図



また割合の書き換えを苦手にする人もいます。「%」⇕「小数」の書き換えは当たり前のようにできるようにしましょう。

「割合」は中学受験を攻略するのにも大切な位置づけです。本番では長い文章の問題が出題され、その中に色々な要素が含まれるのですが、そうしたパターンの中で、最初の段階が割合で始まるからです。文章が長くなっても、解くために大切なことを求めているのか、ハッキリさせましょう。

速さは、関係を明確にして覚えよう！  
速さの計算は、中学入試で必ず1問は出題されています。出るのが「(ほぼ)分かっているのだから身につけてしまおう。速さの攻略法は「道のり・速さ・時間の関係を明確にして覚える」です。同じ問題を何度も解いてみる。すると、速さの問題の解き方や計算に慣れてきます。速さは問題のパターンが多くないので、慣れることが大切です。たくさん練習して、得点できるようにしましょう。

## 6年生の壁と攻略法

中学受験本番を迎える6年生で壁になるのは「比」と「長文」です。

「比」は、図形と混ぜて整理できるもの！  
比の計算をするのはそれほど難しくありませんが、中学受験では図形と比が混ざって出題されます。また、比は中学に入ってからでも苦手に感じる人が多い単元です。今の内の多くの問題を解いて、慣れていきましょう。

「長文」は情報整理ができるかどうか？  
受験本番では、かなりの長文が出題されます。求められるのは「情報整理力」「情報処理力」「分析力」「思考力」です。長い文章の問題は、初めはかなり苦勞すると思います。でも、あまり気負わないで下さい。長い文章をすべて理解して、まとめて解こうとするのではなく、どこを問われているのか、と情報を分解して整理することです。長い文章であっても、各問題で使う情報は実は1、2行だけと言うことが多いです。きちんと情報を整理しながら読めば、あわてず必要はありません。問題文を読みながら、重要なところにアンダーラインを引いたり、文章で書かれていたり、自分で表や図にしたりしていきましょう。すると整理する力がついていきます。

「算数の力をつけるために」  
算数の合格力をつけるには「考えるステップを自分で組める」ことが大切です。問題に反応して、計算するだけではその力はつきません。スクール21では、その力を付けるために、問いかけの順番を大切にしています。まずは「この問題では何を求めているのか？」から始まり「問題の情報から、何が分かる？」そして「最初は何を求めよう？」それが分

かったら、次に何を求める？」と考える順番を整理できるように問いかけていきます。また、解いた問題の振り返りでも「どうやって解いたの？」と確認をします。正しい筋道だったかどうかを先生が確認するだけでなく、生徒の頭の整理にもなるからです。

長文が出題される算数は情報整理と考えるステップの力が大切です。短期間でつく力ではないので、時間をかけてじっくりと力を蓄えていきましょう。

小学校のテストでは授業でやった文章の問題が出題されますが、中学受験は違います。初めて目にする文章を読んで、問題を解かないといけない。これは慣れないと難しい。中学受験が難しいと言われる1つの理由です。

スクール21では「植物に関する文章/動物に関する文章/自然や環境問題に関する文章」など1年間70以上の文章に触れるようプログラムしています。いろいろな文章に触れることで「知っているテーマや言葉を増やす」ことが第1の狙いです。受験で目にする文章が初めてのものでも「似たテーマの文章を読んだことがある」とか「この言葉は知っている」と感じられたら入試本番でも焦らず実力を発揮できます。

また、音読もとても大切です。黙読して分かったつもりになっていても、音読をすると理解度が判明します。理解していないとスラスラ読めないもので「本当に理解できているかどうか」がハッキリするのです。4年生ではたくさんの種類の文章に触れて、読めるようになっていきましょう。

「その理由」を問う質問など。順番に質問に答えていくことで、論理的に説明された文章ができあがります。こうしたパターン(型)を繰り返して慣れていくことで、細かい質問がなくても、自分で順番を考えて説明できるようになっていきます。

また「ぼくが○○と思うのは、○○と思うからです」と語句が重複してしまったり、「です」で書いていたのに急に「だ」と言い切ってしまう。こちらも攻略法は反復練習。書いた後に読み直して、おかしいところは直して、確認をしながら何度も書いて力を磨いていきましょう。

6年生の壁は「説得力のある作文作り」  
出題意図に沿った解答作り、意見と理由を具体的に書くこと、つながりを考えること、書き練習をすること

6年生のポイントは「問題を正確に読み取り、論理的に考えて文章を作ること」です。要は、出た問題に対する自分の考えを、説得力をもって伝えられるようになることを目指します。

中学受験では、資料の読み取りをもとに、作文の問題が出ることが多いです。解答を作るときは、まずは問や資料をよく読み、問われたことに対する自分の意見を定め、それから条件に沿って、理由や具体例(体験)を交えながらまとめ、という手順になります。問や条件を無視して書いても、もちろん得点になりません。そして、苦手にする人が多いのが「意見と理由のつながり」や「意見と具体例(体験)のつながり」です。たとえば「朝食をとった方がいい」という意見を表明したとしましょう。次に理由で「私がそうしているから」と自分の体験を書いてしまえば客観的に説得力を持ちつ

うにしないといけません。「具体例(体験)」の場合も、意見と関係ない体験を書いてしまったり、意見が複数ある一貫性のない意見は、読みに伝わりません。攻略法は、繰り返し「問をよく読み、つながりを考えながら書く」ことです。自分が間違えやすいポイントを明確にして、その点を意識しながら練習をしていきましょう。きつとできるようになりますよ。

「国語の力をつけるために」  
スクール21の授業ではたくさんの種類の文章に触れています。この狙いは「知っている言葉を増やすこと」「読んだ経験のあるテーマを増やすこと」があります。ただしこれは本質ではありません。

国語は「考える力」をつけて「自分の言葉で表現できるように」することが大切です。知識を身につけるだけでなく「考える」ことが本物の力をつけます。そのために知識を詰め込むのではなく「考える経験」を積み重ねましょう。地道ですが、どんな問題が出ても対応できる力が身につきます。

中学入試は競争率が高く狭き門ですが、この時期に身につけた思考力や表現力は、必ず将来にも活かされます。

「国語の力をつけるために」  
スクール21の授業ではたくさんの種類の文章に触れています。この狙いは「知っている言葉を増やすこと」「読んだ経験のあるテーマを増やすこと」があります。ただしこれは本質ではありません。国語は「考える力」をつけて「自分の言葉で表現できるように」することが大切です。知識を身につけるだけでなく「考える」ことが本物の力をつけます。そのために知識を詰め込むのではなく「考える経験」を積み重ねましょう。地道ですが、どんな問題が出ても対応できる力が身につきます。中学入試は競争率が高く狭き門ですが、この時期に身につけた思考力や表現力は、必ず将来にも活かされます。

編集後記  
最初にお詫びです。前号で予告しました「県公立入試前日/当日に大切なこと」は、「入試本番で100%実力を発揮するための勉強法2022」という小冊子にして、中3生の皆さんにお配りしましたので、今回は予告から内容を大幅に変更しています。1面では新中3生の皆さんに、中2までの学習内容で解ける入試問題をいろいろとご紹介しています。ひと足早く受験生になれば、それだけ1年後の志望校合格が近づいてきます。(※)

スクレポ! 第6号 [発行者] スクール21  
保護者様とお子様のための学力向上情報誌  
スクール21レポート  
埼玉県さいたま市中央区上落合一丁目9番2号  
埼玉県立中央高等学校  
TEL: 0120-024-774